

# ユズ果実への化繊布被覆が長期貯蔵中の こはん症発生に及ぼす影響

田中満稔・矢野臣祐・谷岡英明\*

Effect of Synthetic Fiber Cloth Coverings on Rind-Oil Spot Development  
during Long-Term Storage of Yuzu Fruits

Mitsutoshi TANAKA, Shinsuke YANO and Hideaki TANIOKA

## 要 約

ユズの貯蔵障害であるこはん症の発生抑制のために、生育期間中の果実への化繊布被覆の効果を検討した。

1. 8月上旬、9月上旬に黒色化繊布または表面を白色・裏面を黒色とした白・黒色二重化繊布で果実を被覆すると、貯蔵中のこはん症の発生が抑制された。
2. 黒色化繊布で被覆した果実は、3℃で貯蔵しても、これまでこはん症発生抑制のために用いられてきた変温貯蔵（5℃で2ヵ月貯蔵後、3℃で貯蔵）よりも、こはん症の発生が抑制され、果皮色も鮮黄色に保たれた。
3. 黒色化繊布による果実被覆は、1人1日あたり900～1,500果が可能で、人件費を含めた経費は、1果あたり11～14円であった。
4. 8月上旬に黒色化繊布で被覆した果実では、日焼け果や風傷果の発生が減少するため、収穫時の秀品率が向上し、収穫時において想定される価格は無被覆果と比べて、1果あたり15～17円向上した。

キーワード：ユズ，貯蔵，こはん症，化繊布，果実被覆，果皮色